



平成 22 年 2 月 23 日

各 位

会 社 名 昭和シェル石油株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 新 井 純
 コード番号 5002 (東証第一部)
 問 合 せ 先 執行役員経理財務部長 山田 清孝
 Tel : (03) 5531-5591

業績予想および配当予想に関するお知らせ

平成 22 年 12 月期の業績予想および配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成 22 年 12 月期の連結業績予想 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第 2 四半期連結累計期間	1, 190, 000	6, 500	8, 000	2, 700	7. 17
通 期	2, 370, 000	4, 000	5, 500	1, 000	2. 66
(ご参考) 平成 21 年 12 月期	2, 022, 520	△57, 142	△56, 455	△57, 619	△152. 99

2. 平成 22 年 12 月期の個別業績予想 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第 2 四半期累計期間	1, 100, 000	2, 600	5, 200	3, 100	8. 23
通 期	2, 200, 000	5, 000	7, 700	8, 700	23. 10
(ご参考) 平成 21 年 12 月期	1, 897, 254	△59, 397	△56, 856	△55, 374	△147. 00

業績予想の概要

平成 22 年度は、国内における石油製品需要は漸減するものの、海外需要の回復及び原油価格の緩やかな上昇を見込み、連結売上高は 2 兆 3, 700 億円 (単体 2 兆 2, 000 億円) となる見通しです。

損益面は、石油事業においては、国内精製設備の合理化に伴い収益の改善が期待され、固定費の削減および保有資産の見直しに伴う売却益等も見込む一方、太陽電池事業における第 3 工場の稼働に向けた先行支出等が下半期において発生する予定です。

以上のことより、連結経常利益 55 億円（単体 77 億円）、連結当期純利益 10 億円（単体 87 億円）と見込んでおります。また、たな卸資産の在庫評価の影響を除いた場合の連結経常利益相当額は、総平均法に基づく場合と同額（55 億円）を見込んでおります。

なお、上記見通しは、原油代 1 バレル 75 ドル、為替レート 1 ドル 90 円を前提としております。

3. 配当予想（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
今回発表予想	円 銭 9.00	円 銭 9.00	円 銭 18.00
前期実績(平成 21 年 12 月期)	円 銭 18.00	円 銭 18.00	円 銭 36.00

配当予想の概要

利益配分に関しましては、当社の経営・財務状況、金融市場動向等を考慮しつつ、株主に対する安定的、かつ魅力的な配分を実現していくことと併せて、企業価値を最大化するために必要な中長期的な成長戦略を実現すべく内部留保の充実を図ることを基本方針としております。

平成 22 年度においては、当社グループの成長戦略の柱である太陽電池事業への大型投資を実行する予定であります。これは、当社の中期経営ビジョン「EPOCH2010 ～変化に克ち、未来を拓く～」に基づき、能動的にビジネスモデルを構造的に変えることで、成熟する石油産業の中にあっても、最も高い経営効率を実現することを目的とするものです。

従いまして、中間配当としては 1 株当たり 9 円、期末配当についても 1 株当たり 9 円の年間配当 1 株あたり 18 円を予定しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、経済情勢や市場動向並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上